

## 重要なお知らせ；ソフトウェアに起因する現象のご連絡

### SW1A形 Automation Organizer FC6A形 MICROSmart

FC6A形 MICROSmart において、以下1件の現象を確認したことをお知らせいたします。詳細は以下をご確認ください。

#### 現象一覧

No.	現象	現象修正バージョン	リリース日
1	MQTT で、MQTT ブローカーまたはクラウドサービスとの接続に失敗すると、再パブリッシュデータを SD メモリカードへ保存できなくなる可能性がある	FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver.2.32	2023年6月

#### 対策方法

Automation Organizer Ver.4.5.0 に同梱される以下のバージョンのソフトウェアで対応しています。

- FC6A 形 Plus CPU モジュール システムソフトウェア Ver.2.32

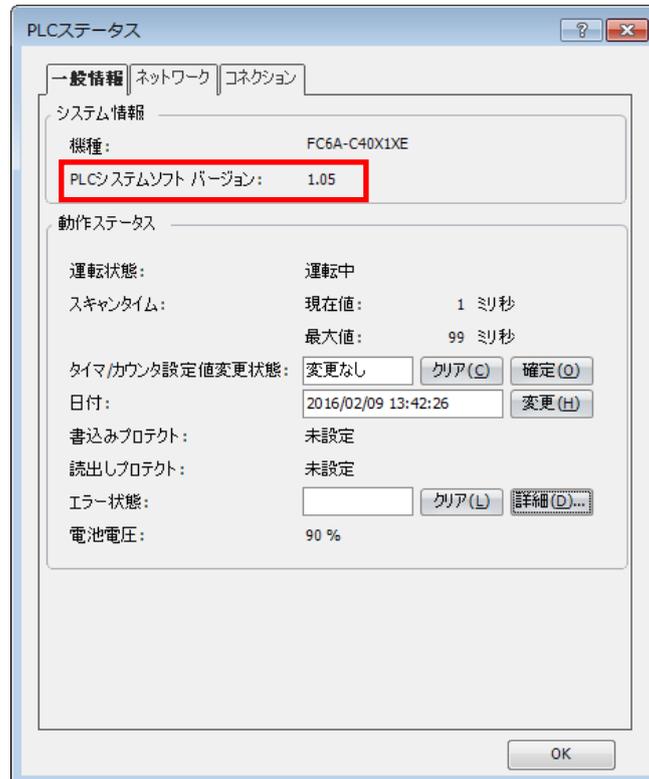
弊社ホームページより上記のバージョンまたはそれ以降のバージョンの

インストーラ【システム統合ソフトウェア Automation Organizer アップデート版】をダウンロードし、インストールしてソフトウェアをアップグレードしてください。

<https://jp.idec.com/RD/software/automation-organizer>

## システムソフトウェアのバージョン確認手順

お手元の FC6A 形 CPU モジュールのシステムソフトウェアのバージョンは、WindLDR の PLC ステータス画面でご確認いただけます。



図序-2：PLC ステータス画面

**No.1**
**【対象製品】**

□ FC6A 形 Plus CPU モジュール Ver.2.20~Ver.2.30  
(Automation Organizer Ver.4.3.0~Ver.4.4.1 / WindLDR Ver.8.23.0~Ver.8.24.2)

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページからダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

機種	形番
FC6A 形 Plus CPU モジュール	FC6A-D16**CEE、FC6A-D32**CEE

**【現象】**

以下 A または B のとき、「再パブリッシュコントロール」の「再パブリッシュデータ保存許可」を ON した状態でパブリッシュしても、再パブリッシュエラーコード 3 (クライアント ID を記憶していない) が発生し、再パブリッシュデータを SD メモリカードへ保存できません。

A	接続エラーコード 1 (※1) の発生によって、電源投入してから一度も MQTT ブローカーまたはクラウドサービスとの接続に成功していない。
B	それまでに接続に成功したかどうかに関わらず、接続エラーコード 80 (※2) の発生によって、MQTT ブローカーまたはクラウドサービスとの接続に失敗した。

※1：接続エラーコード 1 (FC6A 形 Plus CPU モジュールが正しくネットワークに接続できていなかった)

FC6A 形 Plus CPU モジュールにイーサネットケーブルが接続されていない、または接続されたイーサネットケーブルが断線しているなどの場合に発生します。FC6A 形 Plus CPU モジュールに接続したイーサネットケーブルの状態を確認してください。

※2：接続エラーコード 80 (宛先ホストに到達できなかった)

DNS サーバーとの通信に失敗し、MQTT ブローカーまたはクラウドサービスのホスト名から IP アドレスを取得できなかった場合に発生します。DNS サーバーまでの通信経路の状態を確認してください。

**【暫定的な回避方法】**

FC6A 形 Plus CPU モジュールと DNS サーバーが通信できるよう、イーサネットケーブルの接続状態やネットワーク機器を確認した後、MQTT 通信機能の接続コントロールを ON してください。